

県内ワイド

元気よ、届け

日赤県支部・被災地復興



日赤県支部長
総務課長
山本裕行さん

震災から二カ月。今日は、己の無力を嘆く念を抱きました」(坪もわれわれ日赤のメンバーは、入れ替わりながら被災地で救護活動に取り組んでいる。被災者のために。そして、被災者から元気をもらいながら…)。

メンバーの声

被災者からも力もろう

「体を寄せ合いながら自分の我を出すことなく助け合っている人たちの姿に、疲れな

て言っている場合ではない。頑張らなければ」という気持ちになりました」(木戸俊介主事)

「あまりに凄惨な現実には直面しつつ、それでもなお、共に手を携えながら今日を生きようとする被災者の方の姿。被災者でない私

た。大混乱を想像していた私は驚き、尊敬の夫婦に、血糖測定器の族を失って泣いている

「震災後八日目に再とう」と感謝された」(川島勇一主事)

「初めのうちは命が助かってよかったと思っていたけれど、今息など、まだまだ見えてこない被災地。ただ、被災者・被災地

「九十六歳の女性から、『今度はいつ会えるかわからないけど、ご縁(五円)があったらね。こんな年寄りでもこの震災を乗り越えて生きている。あなたたちも元気で長生きしてね』との言葉と一緒に五円玉をもらいました。救護する側でありながら癒やされました」(山内幸子看護師長)

「私は片付けるも手を手を合せてくれる方があるけどな、この人。どうか希望を持って、一日も早く普段の生活に戻りますように、そんなこと言わねえ」と願うばかりでした。うれしかった」(松田ゆう子看護師)

「被災者の方々は本七十年代の女性二人。掛ける言葉なし。一月月当に前向きな人が多

「巡回診療先で被災者の皆さんに囲まれる筆者(前列左から2人目)。被災者から元気をもらっことも多い。4月8日、岩手県陸前高田市で(日赤県支部提供)

「大変やね、遠くから。ありがとう」と

「被災者から元気をもらっことも多い。4月8日、岩手県陸前高田市で(日赤県支部提供)

「東川恵莉子助産師)

「復元への一歩は始まった」(山内幸子看護師長)

「被災者の方々は本七十年代の女性二人。掛ける言葉なし。一月月当に前向きな人が多

「被災者の方々は本七十年代の女性二人。掛ける言葉なし。一月月当に前向きな人が多

「被災者の方々は本七十年代の女性二人。掛ける言葉なし。一月月当に前向きな人が多

「被災者の方々は本七十年代の女性二人。掛ける言葉なし。一月月当に前向きな人が多

「被災者の方々は本七十年代の女性二人。掛ける言葉なし。一月月当に前向きな人が多

「被災者の方々は本七十年代の女性二人。掛ける言葉なし。一月月当に前向きな人が多

「被災者の方々は本七十年代の女性二人。掛ける言葉なし。一月月当に前向きな人が多

「被災者の方々は本七十年代の女性二人。掛ける言葉なし。一月月当に前向きな人が多



「被災者の方々は本七十年代の女性二人。掛ける言葉なし。一月月当に前向きな人が多